



今、ここにあります

# デジカメに 登山地図が 入った!!

今、注目のGPS搭載デジカメ。写真とともに位置情報が記録されるので山行や旅行の記録が整理しやすいと好評だ。そのひとつ、カシオのエクシム「H20G」に専用の高尾山から陣馬山までの登山地図を収録したSDカードが登場。さっそく機能と使い勝手を確かめに、カメラを持って出かけてみた。

文=遠藤裕美

## 登山に役立つ情報が満載

高尾山の山頂にたどり着き、しばし休憩。ここで液晶画面を見ると、内蔵された地図が細かくてわかりやすかった。自分がいる位置をはじめ、トイレやお弁当ポイント、茶屋、ビューポイントなどがアイコンで記され、写真を撮ったことを示す撮影マークは、撮った方向まで記される。画面の右側に自分が撮影した写真のサムネールが表示されるのも便利だ。



- トイレ
- 茶屋
- お弁当ポイント
- 撮影マーク
- 紅葉ポイント
- 休憩ポイント
- ビューポイント
- 自分の位置

撮影写真のサムネール

## 撮影地が記録される

汗をかきかき、びわ滝に到着したら記念撮影。撮影した場所が地図上にマークされ、撮った写真には位置情報が記録される。さらに写真のすみに地名が書き込まれる“地名スタンプ”もあり、これなら後で写真を整理するときにわかりやすい。縦走などでよくある「あれ、この山どこだっけ?」なんてことはなくなるのだ。



どのコースで登ろうか

## 全体地図でコースを確認

まずはスタート地の「高尾山山頂」でスイッチオン。GPSの起動は速く、10秒ほどですぐに自分がいる位置が表示された。ケーブルカー乗り場まで来たら、収録画像のなかから高尾山のイラストマップを開き、全体図を確認。計7本ある登山コースの中から、途中にびわ滝があって涼しそうなる6号路を選び、いざ、出発だ。

## START 高尾山山頂

滝、すずしい~

## パノラマ写真が おもしろい

途中、巨木が立っていたのでパノラマ撮影を試みた。シャッターを押し続けてカメラを下から上へ動かしていくと、連写写真のつなぎ目がめだたないパノラマ写真ができていく。簡単に迫力ある巨木が撮影できた。これは楽しいぞ! 最大で縦方向は180度、横方向は360度で撮影可能。見晴らしのよい頂上での撮影にもぴったりだろう。

びろ〜んと  
360度撮影も!

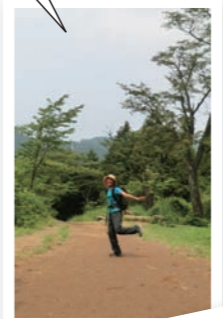
ぐい〜んと!

川の流れを  
撮ってみよう



## プレミアムオート機能で 写真をより鮮やかに

思い出の写真はくっきりきれいに残したい。そんなわがままをかなえるのが“プレミアムオート機能”。青空や緑はより鮮やかに、人物は明るく、自動で画像処理をほどこす。さらにカメラが人物の顔を検出し、デジタルファンデーションでなめらかな肌にメイクアップ。誰でも美人に撮ってくれるとは、デジタルの力、恐るべし。



私、キレイ?



あの山ナニ?



## 山頂から見える山の名前を搭載

景信山の山頂では、またまた便利な画像を利用した。山頂から見える富士山・大室山・相模湖などの名称が記してあるのだ。みんなでわいわいと山座同定、なんて楽しみ方もできる。ここ景信山のほか、高尾山・城山・陣馬山などの山頂からの展望写真も山名つきで収録されている。

あともう少しだ

## コースタイムが ひと目でわかる

堂所山を過ぎると、すっかり人けがなくなってきた。ちょっと心細くなり、コースタイムを確認。今いる地点に近い場所が赤く色づけされた各ポイント間の所要時間と距離を示した図が表示される。一目瞭然とわかるというもの。ゴールに着いてしまうのは、うれしいような、寂しいような気がするが、とにかくあとひと息、がんばろう。



## GOAL 陣馬山

陣馬山に到着!  
地図入り  
GPSデジカメは  
大重宝だったぞ~

## 近くのおすすめ撮影ポイントも

収録された画像には、近くのおすすめ撮影ポイントもある。見逃さないように、事前にチェックしておくのが大事。ここまで来たら、ほどなく到着する陣馬山の景色を見たい。山頂は広そうだし、視界はよさそうだし、茶屋もトイレもありそう。ん? 山頂にこんな白い馬がいるのかな?



## 歩いた軌跡も見られる

さて、縦走も半分を超えたら、行程を振り返ってみるのもいいだろう。ここで、カシオ自慢のログ機能を検証。GPS情報をきっちり捉え、高尾山山頂からここまで、移動した道のりが地図上の道にポツポツと●で記されていた。登山地図内蔵のモデルだからこそ、液晶画面上で登山道と軌跡マークをあわせて見ることができる。



タヌキと一緒に



## 今後続々と 他エリアの登山地図が リリースされるぞ...

こっちだね



## 分岐点を写真で確認

小仏峠まで来ると、ちょっと迷いやすい分岐になる。でも、このカメラと一緒に大丈夫。分岐点の写真データも収録されていて、ご丁寧に矢印が大きく書き込んであるのだ。GPSで自分の位置を確認してもいいのだが、目の前の景色と写真を照らし合わせることができれば、さらにわかりやすく安心だ。迷わず左の景信山へ向かおう。



## CASIO EXILIM H20G

オープン価格



- 1410万画素CCD
- 広角24mm、光学10倍ズームレンズ
- 3.0型(46万画素)液晶
- 電池寿命は約600枚(GPSオフ時)
- W102.5×H67.5×D28.8mm
- 216g(電池およびメモリーカード含む)



H20G専用  
高尾・陣馬  
コンテンツSDカード  
3480円

- 高尾山山頂から高尾山山頂、陣馬山山頂を経て、陣馬山原下バス停までの登山ルートおよび、等高線地図を収録
- コース所要時間や分岐案内、景勝地画像などのデータを263点収録
- カシオ公式オンラインショッピング「eカシオ」にて限定販売中
- http://www.e-casio.co.jp/takao/
- ※ラベルデザインは変更する場合があります

★今後、昭文社から出版されている「山と高原地図」をデータ化した「MAPPLE山あるきデータベース」をH20G用コンテンツとして順次発売していく予定です